

水上実喜夫勝山市長 2期目スタート

勝山市長
水上実喜夫氏
が目指す
「楽しい笑顔
のまち勝山市」

Sarasa
Digest



再選を果たし団体代表、市議、後援会役員らと万歳三唱する水上実喜夫氏(勝山市元町1・勝山商工会館)

任期満了に伴う勝山市長選挙は12月1日、投開票が行われ、無所属の現職で自民党と公明党が推薦する水上実喜夫氏が2回目の当選を果たし、多くの支援者に囲まれ当選報告会が開催された。

水上氏は勝山市出身の65歳。勝山市の職員として37年間勤務したあと、平成31年からは副市長を務め、4年前の市長選挙で初当選。今回も前回に続く一騎打ちとなり、現市政の「継続と推進」か「刷新」か、舌戦が繰り広げられた。水上市長に次の4年間を、引き続き任せたいという有権者の声の上回り再選を果たした。

全3ページ中1ページ表示